

## 第18回 新型コロナウイルス感染症対策本部会議（要旨）

日時：令和2年3月30日（月）9:00～

場所：401 会議室

### 【協議事項】

- ・可児市内のクラスター発生と学校部活の対応について

副市長：市内で4例目まで感染者が発生しているが、全て感染ルートが判明している。可児でスポーツクラブと合唱サークルの2つのクラスターが認定された。3/28に岐阜県が国にクラスター班の派遣を要請した。

28日（土）に首相の会見があり、学校再開については、専門家意見を聞く、また長期戦を覚悟する必要があるとのこと。市の公共施設とイベントは4月末まで延期だが、学校、部活、幼稚園の再開について、協議する必要がある。

職員の感染については、もういつでも考えられる状況なので対応を覚悟しておくこと。長期戦なので、備蓄資材の確認も必要となる。

まず、学校について、教育委員会はどのように考えているのか。意見を聞きたい。

教育部長：4/1の校長会で、屋外の部活について再検討を行う予定。

市長：国の動きよりも、可児の影響を気にする必要がある。潜伏期間が2週間というが医学的には不明確。もう1週間余分に見た方がいいのではないかな。

懸念事項としては、延長する理由を明確にすること。スポーツジムに行っている子が判明している部分が理由になるかと思うが、現場の意見を聞きたい。

学校教育課：部活は4/1からの予定だが、1週間部活を伸ばすことは可能。

副市長：現場の話を押さえて判断した方がいいかと思う。

市長：屋外でも触れる機会が全くないわけではない。隣接市で、クラスターが発生したという明確な理由もある。また、潜伏期間を考えても一般的に言われている潜伏期間を跨ぐことも理由の一つであり、今回の再開を見合わせてほしいと思う。

副市長：今週、国がどのような発表をするかによる。

子育て監：児童クラブでも感染者の関係で、利用を控えている方もいる。

副市長：犬山キャンペーンについてはどうか。

経済環境部長：この土日は普段より人手はなかったが、見える形で、3密を避けるように掲示した。キャンペーンの対応についての打合わせは4/1に行う。

市長：市内でのクラスターを避けるため、やらざるを得ない施設はあると思う。聖苑などは、犬山市の感染者が多く出てきた中で3密の状態ができていない可能性がある。感染が続いてきている状況を踏まえると、コロナ対応にご協力いただく対応ができないか。参列者の中には帰国者の可能性もある。また収骨の取り扱いなどもある。職員も含め利用者へアナウンスなどの配慮を市としても伝達しておく必要がある。

経済環境部長：事前の調整が可能かどうかも含め、確認、伝達する。

市長：市役所の業務については、中止しても違うやり方でやる方法を考えていってほしい。書面で行うなり、工夫して行っていく方向で。ただし、局面に応じて。

副市長：住民と協議していく必要があるものについては、まずやる方向で考えていってほしい。やり

方は工夫して。繰り返しとなるが、職員の感染が確認されたら、まず休んでもらい、消毒後再開することとする。各課にて、業務の洗い出しも行ってもらっていると思うが確認しておくこと。

市長：備蓄資材はどれくらいあるのか。マスクと消毒液は

健康推進課及び地域安全課：在庫状況、発注状況を報告

副市長：非接触型検温器、サーモグラフィ等の準備は。

健康推進課長：直ぐにもものが入らない状況ではある。

市長：長期化をにらんで、とにかく随時発注し、うまくつなぎ、計画的に確保し、配布する準備をしていくこと。

休日診療所及び観光キャンペーン等については、後ほど個別に打ち合わせを行う。

・生活支援チームの設置について

健康推進課長：(資料に沿って説明)

副市長：福祉課で、チームを編成し、対応してもらおう。対象者がわからないので、連絡をもらう形で進めるが、準備ができ次第対応していく。

健康福祉部長：準備が整ったら報告する。

健康推進課長：土日に感染者に関する問合せが5件あった。感染者が公表できないのであれば、市長名で外出自粛要請をだすべきとの要望もあり。

副市長：感染者及び濃厚接触者への対応を市のHPに記載してあるので、全職員一読させること。今の状況や対応方法を職員で共有すること。

市長：感染状況や市の対応を回覧で良いので情報発信すること。

副市長：今日の会議はここまでとする。状況に応じて、緊急で会議は開催する。